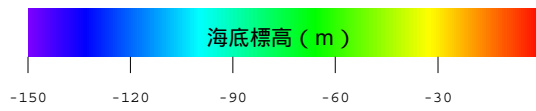
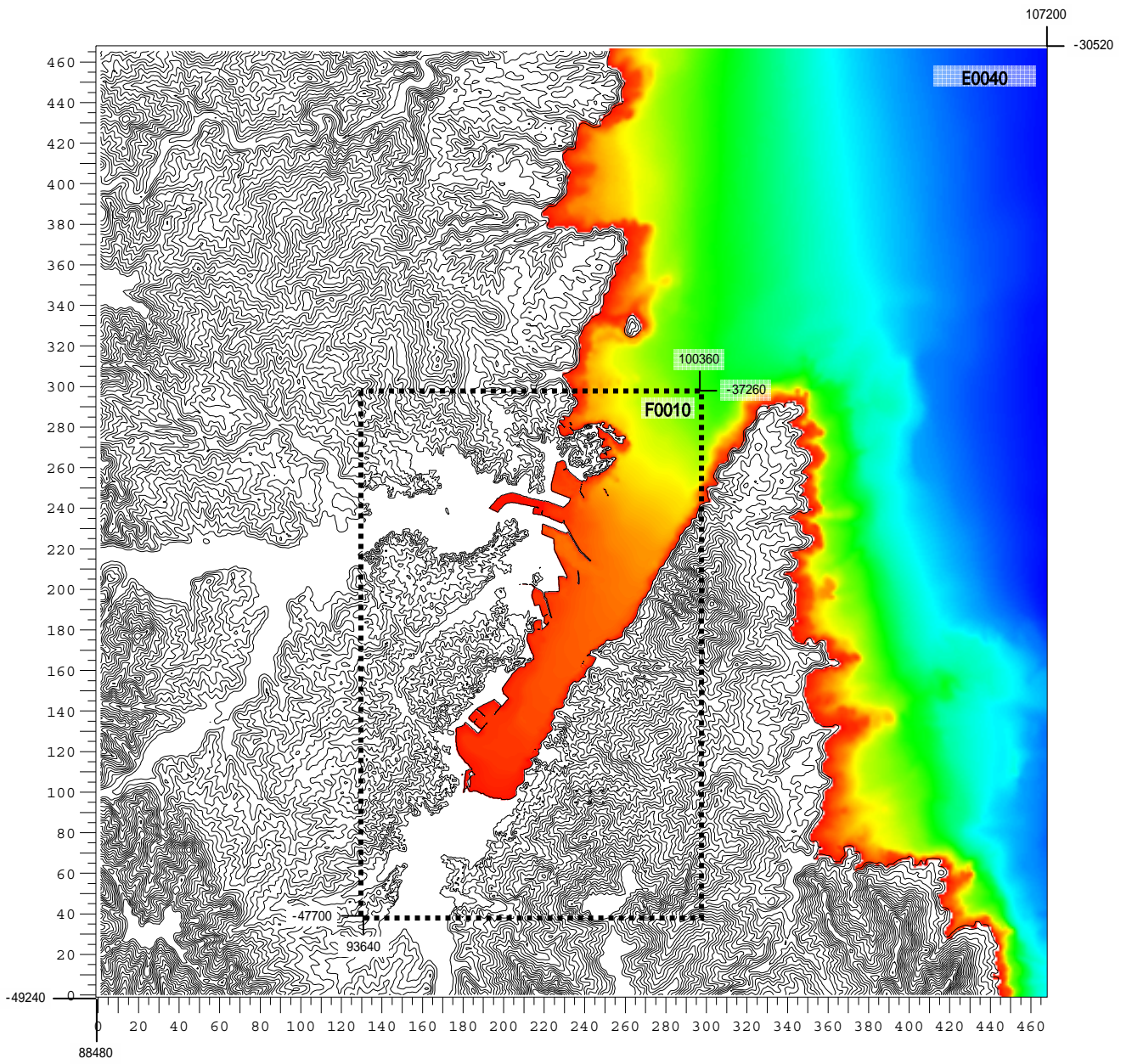
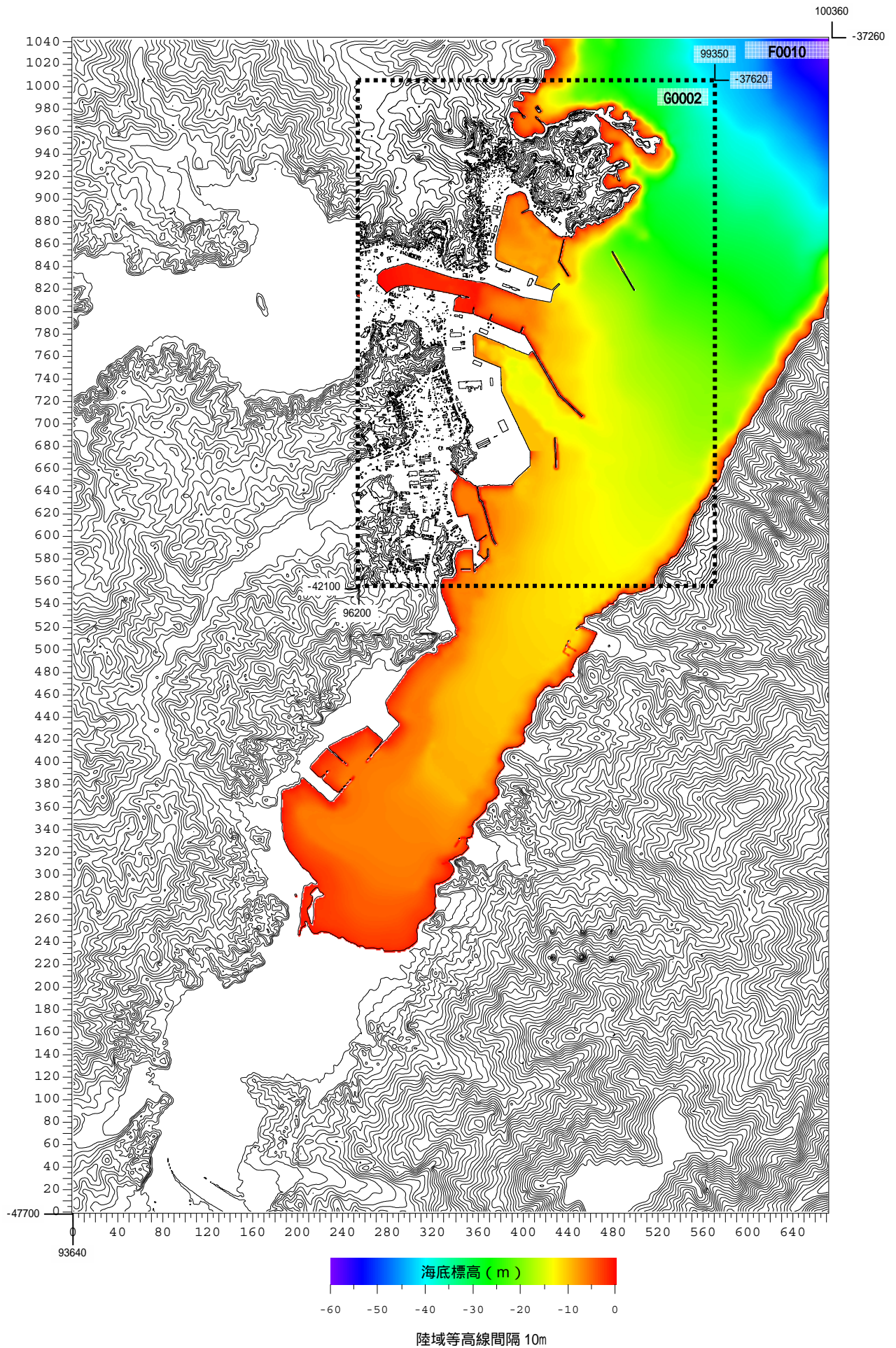


領域の対角座標値は世界測地系 系



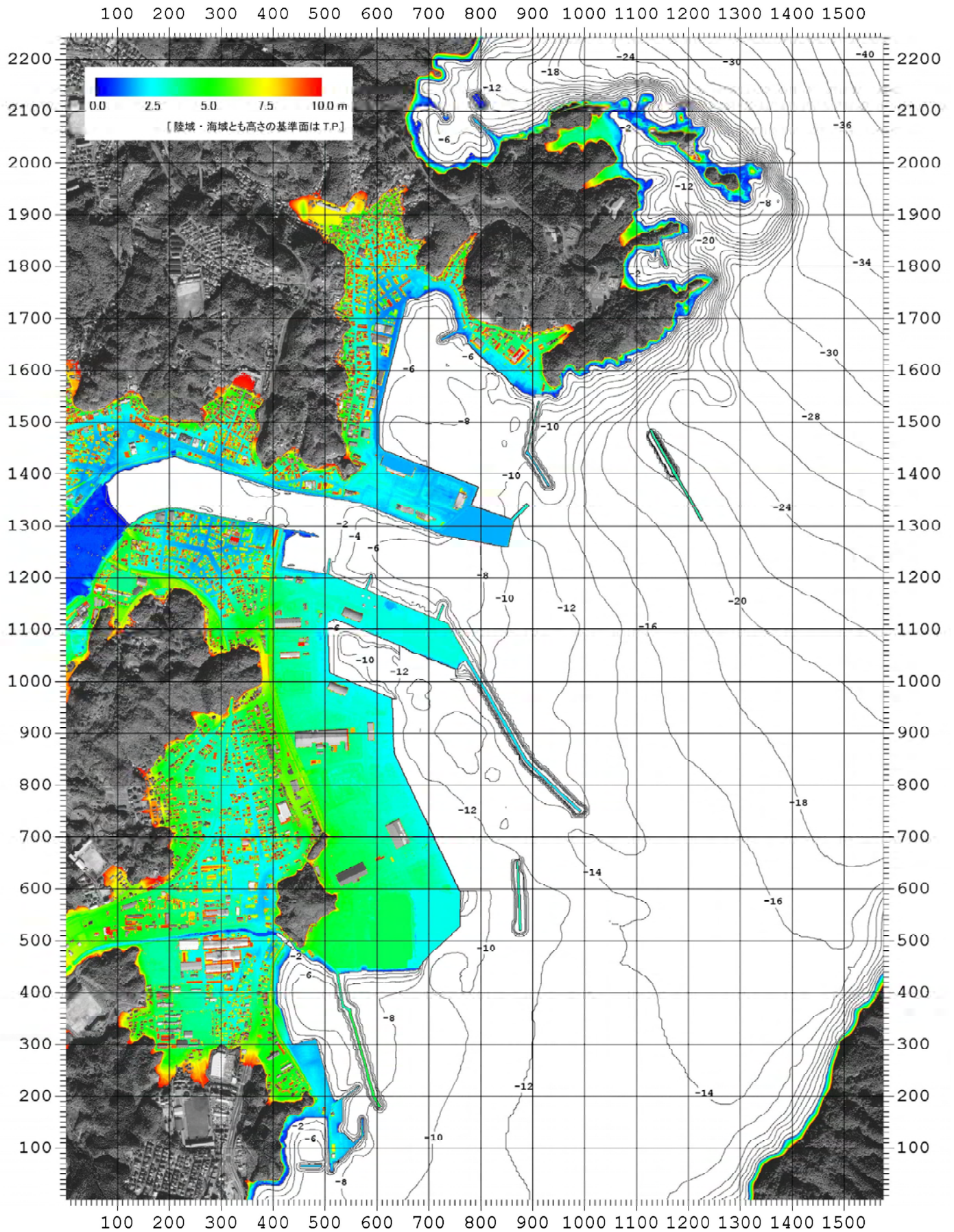
陸域等高線間隔 2 0 m

領域の対角座標値は世界測地系第 系



領域の対角座標値は世界測地系第 系

# 港湾施設計画完成後における2mメッシュ標高分布および等深線



画像周囲の目盛りは2m単位

背景はイコノス画像を使用

## 4.2 構造物

各種構造物（現況港湾施設、計画港湾施設、河川津波堤防、水門・陸閘等）のデータを作成した。構造物は2.0m単位で近似した地盤高として表現することとし、その高さは、D.L（工事基準面）からT.Pに換算した。（D.L +0.000m= T.P -0.773）

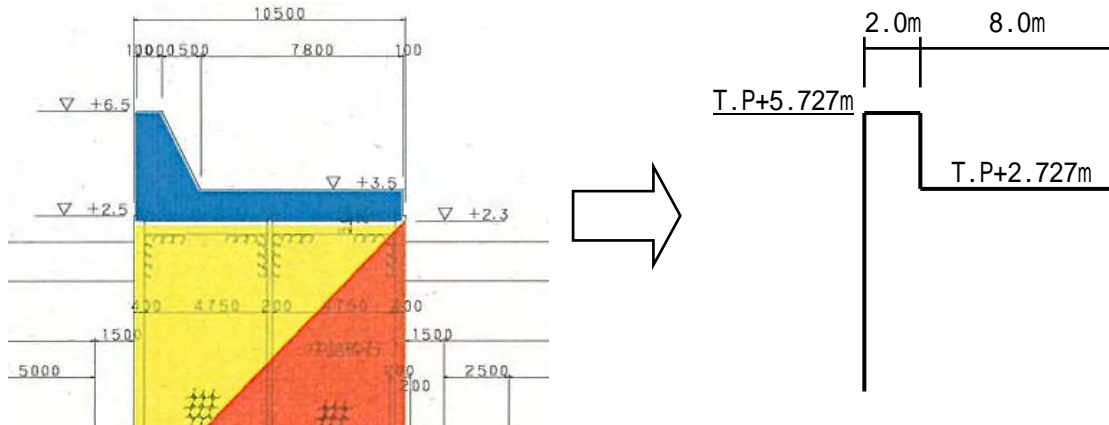


図 - 4.1 構造物データ作成イメージ図

構造物の位置、高さ等、及び各陸閘・水門部におけるデータ作成手法を次頁以降に示す。